



題字：桂川中学校美術部 神崎 巴奈 さん

■地域で育てる子ども達

桂川町教育委員会 教育長

瓜生 郁義

これからは、学校を核として地域住民の参画や地域の特色を生かした事業を展開し、町全体で地域の将来を担う子どもたちを育成していくことが求められています。このことは、学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働が推し進められ、地域のコミュニティの活性化にもつながっていくものだと思います。昨年10月に学校等とボランティア(地域人材)をつなぐ学校支援コーディネーターを配置しました。現在、「習字」や「外国文化の紹介」、「和楽器の演奏」など、学校の要請に応じて活動するボランティアの登録手続きを進めており、個人・団体あ

わせて100名を越えるボランティアが集まりました。今後、関係者の協力のもと、学校等とボランティアを円滑につなぐことにより、学校の教育活動とボランティア活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

さて、最近の子どもたちの育ちを見てもますます気になることがあります。それは、基本的な生活習慣の欠如や食生活の乱れ、自制心や規範意識の希薄化、運動能力の低下、コミュニケーション能力の不足などによって、学校生活にうまく適応できない子どもたちが増えてきているように思います。今後、家庭や地域の教育力の向上とともに保・幼・小の連携等を図り就学前の教育の充実に努めてまいりたいと考えています。桂川町は、豊かな自然や歴史等に恵まれた地域です。この貴重な地域資源を生かして子どもたちを鍛え、ほめ、伸ばすための様々な体験活動を推進し、豊かな感性・人間関係・自主性、耐力等の育成に努めたいと考え

ています。

また、町PTA連絡協議会と連携して実施している教育シンポジウムについては、学校、家庭、地域の役割と責任についてそれぞれが、改めて考える機会となるよう内容を充実したものにしたいと考えています。

これからの時代を力強く生き抜いていかなければならない子どもたちです。学力、体力、豊かな心の教育など、社会的に自立する基盤となる力を確実に身に付けさせる施策をはじめ、グローバル社会に対応した教育など、社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力の育成を目指し、様々な施策に取り組んでまいります。

今後とも、町民の皆様のご理解とご協力をよろしく願っています。



■人権啓発冊子「けいかん」

桂川町人権・同和問題協議会では、平成27年度も様々な人権に関する啓発活動を行ってきました。その1年間の取り組みを、啓発冊子「けいかん」にまとめました。

7月に猿まわし師の村崎太郎さんを講師として招き、「橋はかかる〜差別の無い世の中を目指して〜」と題して開催した市民講座。同月に桂川町役場前など町内5カ所で行った街頭啓発。そして10月に人権啓発ビデオ

「家庭の中の人権カラフル」を視聴し、みなさんで人権について懇談していただいた人権・同和問題地域懇談会。これらの取り組みを紹介した冊子となっています。

また、少しでも多くの方に読んでいただけるように、文字にはふりがなもつけています。各戸配布を予定していますので、ぜひ、ご一読いただきたいと思います。

